

当面の病床機能転換の予定等



和歌山県福祉保健部健康局医務課

当面の病床機能転換等の一覧（和歌山保健医療圏構想区域）

No.	医療機関名	将来目指す医療機能の方向性 (令和元年11月29日付け医第11290001号 「病床機能の現状及び今後のあり方等 に関するアンケート」結果より)		転換等の内容	転換の時期
1	宇都宮病院	B	地域密着型協力病院	転換 建替に伴い、療養病床7床を地域包括ケア病床へ転換 ＜転換後の機能別病床数＞ 回復期40床、慢性期40床	令和4年10月頃
2	和歌山労災病院	A	救急医療を含めて高度急性期機能や急性期機能を担う病院	転換 1病棟を脳卒中ケアに特化し、高度急性期として整理 ＜転換後の機能別病床数＞ 高度急性期50床、急性期253床	令和3年8月

議題1 和歌山保健医療圏構想区域における当面の病床機能転換等の予定について

本年4月から6月にかけて実施した病床機能転換等に係る意向調査にご協力いただき、ありがとうございました。

ご報告いただいた結果、和歌山保健医療圏の医療機関における当面の病床機能転換等の予定は上記のとおりです。

上記2案件について採決を実施しますので、別添「書面決議書」にご記入の上、ご提出ください。（9月24日（金）〆切）

【資料２】病床機能の転換・廃止等について

医療機関名

宇都宮病院

現在の病床機能【概要】		＜令和３年８月現在＞		
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	稼働率
高度急性期				
急性期				
回復期	1	療養病棟入院基本料	4	90%
		地域包括ケア入院医療管理料	33	
慢性期	1	療養病棟入院基本料	43	97%
計	2	－	80	－
(備考)				



今後の病床機能【概要】		＜令和４年１０月頃～＞		
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	(定員)
高度急性期				
急性期				
回復期	1	地域包括ケア病棟入院料	40	
慢性期	1	療養病棟入院基本料	40	
介護医療院				
計	2	－	80	
(機能転換・病床数変更等の概要)				
療養病床４７床を４０床に減らし、地域包括ケア病床を３３床から４０床に増加				
【回復期】 ３７床 → ４０床 (３床増)				
【慢性期】 ４３床 → ４０床 (３床減)				

現在の病床機能【詳細】
療養病床は難病等で在宅に戻れない患者さんを見取りまで対応しています。 地域包括ケア病床は急性期病院と在宅からと半分ずつぐらい受け入れています。 当院では訪問診療を行っており、在宅からの緊急入院時に地域包括ケア病床が満床になっており、療養病床で受け入れることもあります。



機能転換・病床数変更後における病院・診療所のあり方
令和４年１０月頃を目標に病院の建て替えを進めています。 地域包括ケア病床は全床個室にし、より在宅に近い環境で入院治療を行い、今まで以上にリハビリを拡充することで在宅復帰を目指していきます。
＜地域密着型協力病院指定申請の予定の有無等＞ <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 指定済み

【資料２】病床機能の転換・廃止等について

医療機関名

和歌山労災病院

現在の病床機能【概要】		＜令和３年７月現在＞		
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	稼働率
高度急性期	1	特定集中治療室管理料 3	6	
急性期	6	急性期一般入院基本料	297	
回復期	0		0	
慢性期	0		0	
計	7	—	303	—
(備考)				



今後の病床機能【概要】		＜令和３年８月以降＞		
機能区分	病棟数	入院基本料 又は 特定入院料	病床数	(定員)
高度急性期	2	特定集中治療室管理料 3 ・ 急性期一般入院基本料	50	
急性期	5	急性期一般入院基本料	253	
回復期	0		0	
慢性期	0		0	
介護医療院	0		0	
計	7	—	303	
(機能転換・病床数変更等の概要) 急性期297床のうち、44床を高度急性期に転換。				

現在の病床機能【詳細】
<p>当院は、高度急性期病床としてICU病棟6床（特定集中治療室管理料3）、急性期病床297床（急性期一般入院基本料）を有す303床の病院です。</p> <p>和歌山市河北・河西地区に位置し地域医療に貢献をすべく、急性期病床から高度急性期病床への転換を検討し「救急医療」「地域医療連携」「政策医療」「災害医療」への取組をさらに推進する。</p>



機能転換・病床数変更後における病院・診療所のあり方
<p>平成17年からt-PA静注療法が日本でも認可され、当院でもストロークホットラインで搬送されて発症後4.5時間以内の患者に実施している。当院のICUは6床のみで全診療科収容のため入床に限界がある。ストロークホットラインで搬送され、脳血管内治療を実施した患者を受け入れる一般病床（44床）において、安全に配慮した医療環境を整備するため脳卒中ケアに特化した病棟として体制整備し、急性期病床から高度急性期病床への転換を図る。</p>
<p>＜地域密着型協力病院指定申請の予定の有無等＞</p> <p><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 指定済み</p>